

# ねりまの農業・収穫体験冊子の課題と役割整理

## 1. 課題

### 課題① 冊子乱立による役割分担の不明確さ

- ◆ 新たな事業に応じて都度冊子を作成してきた結果、冊子が乱立し、情報の全体像や連携が見えづらい。
- ◆ 誰向けなのか、何を伝えるのかといった役割分担の不明確さが課題。

### 課題② デジタル化不足による情報一元化の未整備

- ◆ ねりま区報等では電子ブック形式を導入しているが、都市農業課が発行する広報冊子では、デジタル化が進んでいない。
- ◆ アプリ「とれたてねりま」やWebとの連携が不十分で、冊子情報がデジタル上で一元化されておらず、スマートフォンで簡単にアクセスできる仕組みが整っていない。

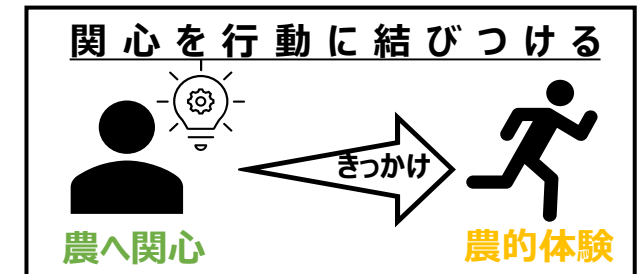
## 2. 目的およびその背景

### 【目的】

- ① 練馬の農業の魅力を親しみやすく紹介することで、都市農業への理解を深めてもらう。
- ② より多くの人々に冊子を手にとってもらい、収穫体験など、都市農業への参加を促す。

### 【背景】

区民意識調査により、農に「関心がある」人は多いが、実際に農的体験を経験した人は少ないことが判明。



## 3. 各冊子の位置づけ

【“知る”から“参加する”へ——2冊でつなぐ区民の行動ステップ】

冊子名	位置づけ	役割	対象と重点
ねりまの農業改訂版 	都市農業の魅力を伝える “全体メニュー表”	都市農業に関心を持ってもらうための入口情報を広く届け、興味を引き出す	区民全般（子供から大人まで多くの区民） <b>重点</b> 関心未参加層 （元々関心はあるがまだ参加していない層） 対象 <イメージ> 区民全般 重点的に訴求 関心未参加層
収穫体験統合冊子 	参加行動を促す “収穫体験カタログ”	都市農業に関心を持った人が実際に参加・体験できるよう導く、行動促進につながる実用情報を提供する	関心未参加層 ※ ねりまの農業を読んで初めて関心を持った層を含む <b>重点</b> ファミリー層 （農園近隣に住んでいる子育て世代） 対象 <イメージ> 関心未参加層 重点的に訴求 ファミリー層

### ねりまの農業改訂版

都市農業の魅力を浅く広く紹介  
（読んで楽しい『全体メニュー表』）

#### ① 買う

- ・庭先直売所
- ・マルシェ



#### ② 体験する

- ・果樹ある＆ベジかる
- ・農業体験農園等



#### ③ 知る・学ぶ

- ・農業委員会、農地保全
- ・学校給食との連携



### 収穫体験統合冊子

収穫体験に興味を持った区民が具体的に行動に移るために必要となる情報を端的に掲載  
（実用性を重視『収穫体験カタログ』）



主な客層は、**農園近所のファミリー層**  
（スマホと親和性が高い）が多いです。  
※収穫体験を実施している農業者からの報告



実用性を重視するため以下①、②の情報に最短でアクセスできる冊子とする。

- ① 自転車で行ける範囲の農園で、
- ② いつごろ、どんな収穫体験ができるか

地図も含め詳細情報はアプリで掲載（冊子には農園ごとに二次元コードを掲載）

### とれたてねりま



R3年度にリリース以降、累計PV件数80万以上で、区民の多くが利用

→冊子と連動して発信

#### <アプリの特徴>

- ・農園ごとの詳細情報
- ・地図（ルート検索も）
- ・最新の収穫体験情報
- ・予約受付

参加する